

TERZO DR19

取付パッキンセット 取扱説明書

この度は、TERZO 製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
正しくお使い頂く為に、取扱説明書を良くお読みください。
この取扱説明書はなくさないよう、大事に保管しておいてください。

本取付パッキンセットは、ダイレクトレールタイプ フットセット『EF-DRX』を装着する際に使用するパーツセットです。

※ この本文中の **△注意** マークと **△警告** マークは、取り付け上に関する重要な注意事項です。
安全かつ確実に作業して頂く為、必ず厳守してください。

お客様へお願い ……この取扱説明書とご購入時のレシートは、大切に保管しておいてください。この商品をお貸ししたり譲ったりする場合は、必ずこの取扱説明書を含めてお渡しください。

取付店様へお願い ……取り付け後は必ず、この取扱説明書をお客様へお渡しください。

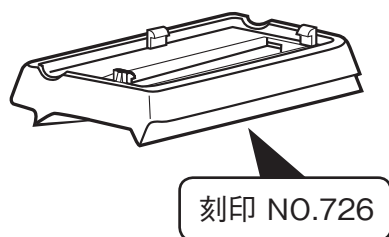
お客様へ

- お客様の車両のキャリア取り付け寸法が本取扱説明書に記載されていない場合は、弊社『お客様相談窓口』迄お問い合わせください。

内容品

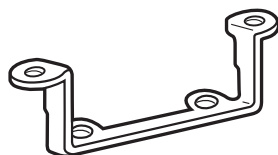
※ 梱包品が全部揃っている事を確認してください。足りない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
※ 部品を紛失した場合は、下記の TP 品番で取り寄せできますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。
尚、下記 TP 品番に表示されております価格は、全て税抜き価格です。

①パッキン【4枚】



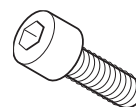
[TP726 : ¥ 700 (1枚)]

②ステー【4個】

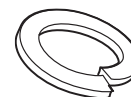


[TP2373 : ¥ 700 (1個)]

③六角穴付ボルト (M6,L=8mm)【16本】



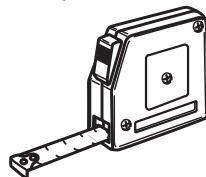
④スプリングワッシャー【16個】



[TP2374 : ¥1,000 (六角穴付ボルト 16本 / スプリングワッシャー 16個セット)]

必要工具

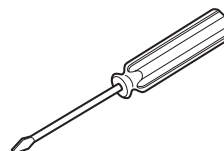
- メジャー



- ビニールテープ



- ⊖ドライバー



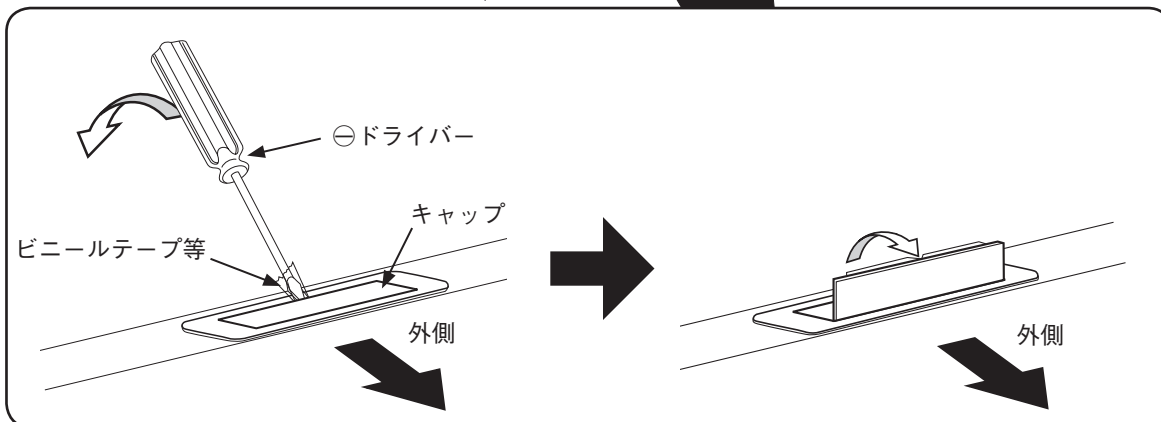
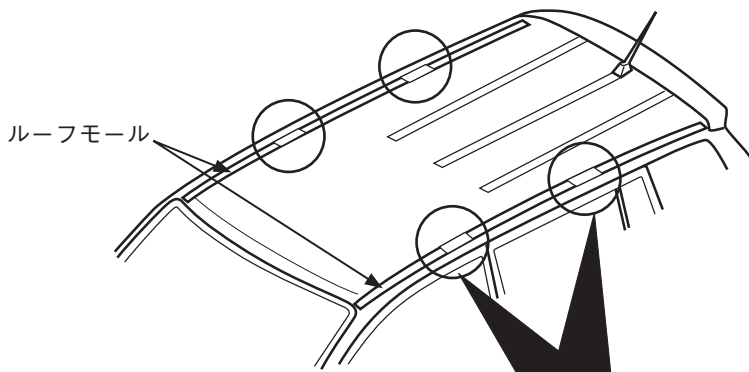
- ウエス



【1】車両への取り付け

(1) キャップの開口

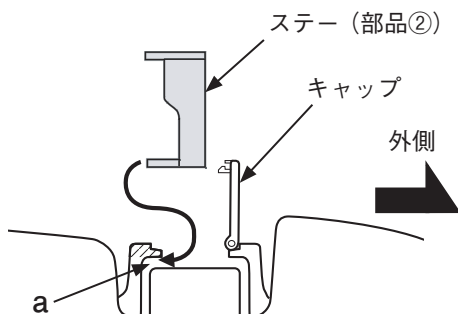
車両ルーフモール上の4カ所のキャップを、⊖ドライバーにビニールテープ等を巻き付けたもので車体に傷を付けないよう開けてください。




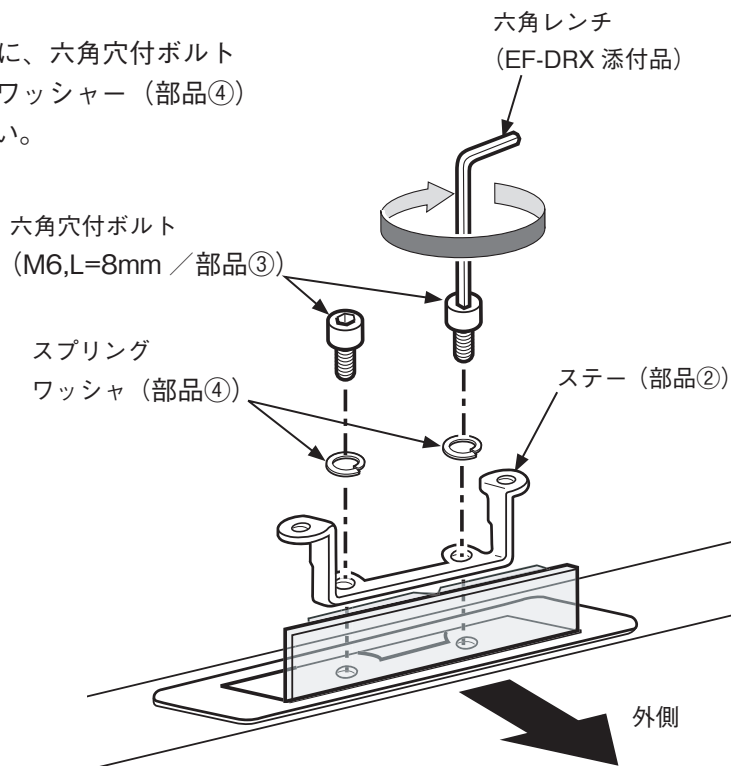
(2) ステアの取り付け

ステー（部品②）をキャリア取り付け台座に、六角穴付ボルト（M6,L=8mm / 部品③）及び、スプリングワッシャー（部品④）にて、4箇所共しっかりと固定してください。

助手席側のルーフモールを
フロント側から見た図



※ a部にステーが入らないときは、部を少し上に持ち上げながらステーを差し込んでください。

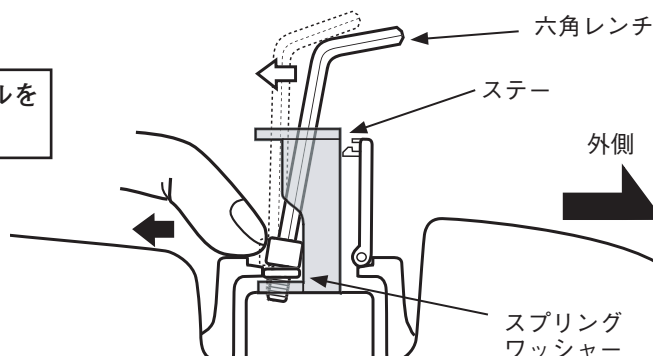


👉 アドバイス

車体側のボルト取り付け部とステーの穴位置が合っていない場合

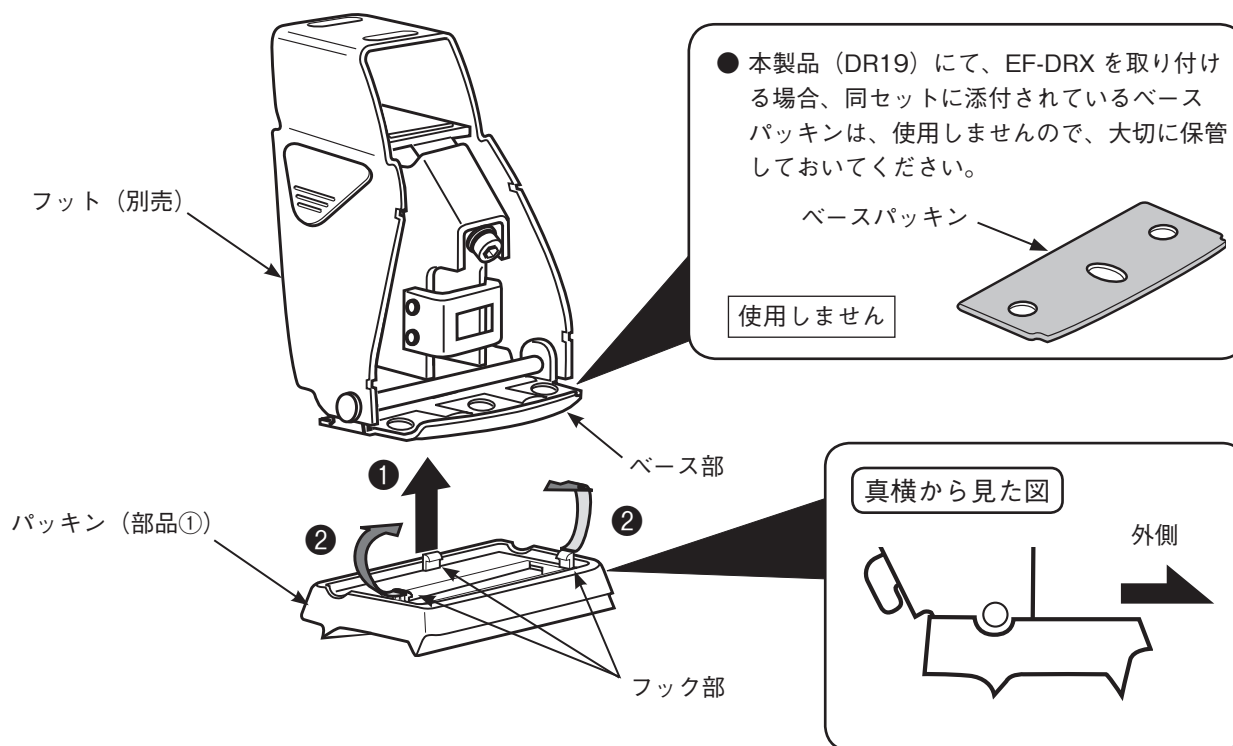
モールの開口部を指で車体中央方向（←方向）に押しながら、図のように六角レンチを↶方向に動かし、スプリングワッシャーを↶方向へ押し付けてボルトを垂直にして取り付けてください。

助手席側のルーフモールを
フロント側から見た図



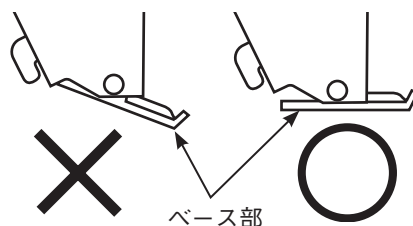
(3) パッキンの取り付け

パッキン（部品①）のフック部を広げながら、別売のフット『EF-DRX』のベース部にしっかりと取り付けてください。（4個のフット全てにパッキンを取り付けてください。）



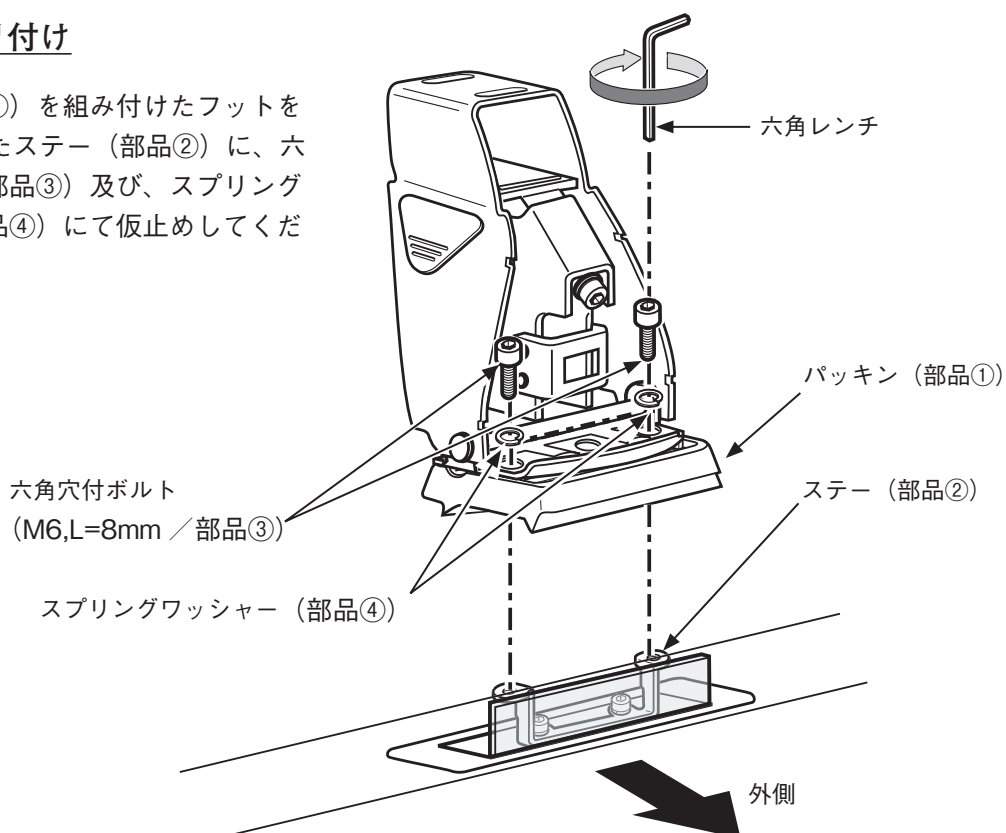
⚠️ 注意

- パッキンを取り付ける向きにご注意ください。
- フットのベース部が傾いていると、パッキンを取り付け出来ませんのでご注意ください。
- 本製品を『EF-DRX』に取り付ける場合、フット Ass'y を車体に仮固定した後にメインバーを通しますのでご注意ください。



(4) 車両への取り付け

パッキン（部品①）を組み付けたフットを（2）で取り付けしたステー（部品②）に、六角穴付ボルト（部品③）及び、スプリングワッシャー（部品④）にて仮止めしてください。

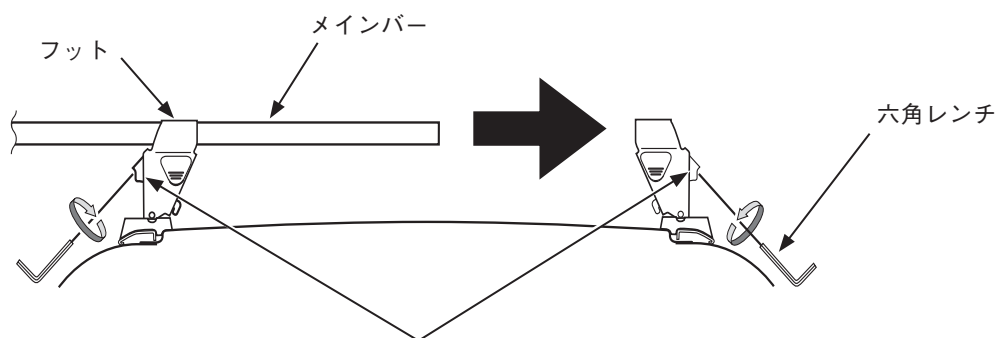


⚠注意

- 六角穴付ボルトを強く締めすぎてしまうと、次の行程でメインバーをフットに通せない場合がありますので、強く締め過ぎないように注意してください。
又、六角穴付ボルトを締め付け過ぎると、ステーが変形してしまう場合がありますので、締め付け過ぎないようにご注意ください。

(5) メインバーの取り付け

- ① フットの六角穴付ボルトを六角レンチでゆるめ、別売のメインバーを通してください。



六角穴付ボルトをゆるめないと、メインバーを通す事はできません。

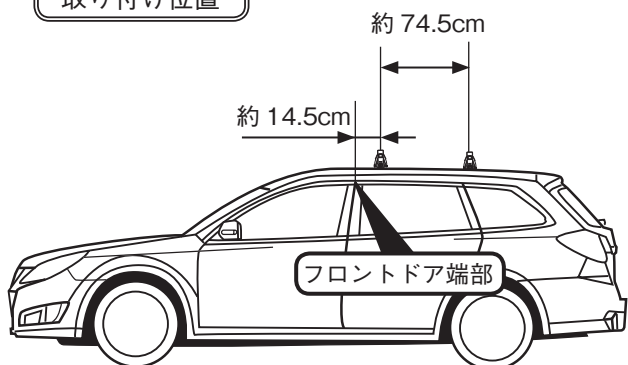
⚠注意

- メインバーを通す際、車体に傷を付けないよう充分ご注意ください。

- ② 仮組みしたフットのメインバーを左右同じ長さに調整してください。
(各車種の寸法につきましては、P5～P7の車種別キャリア取付位置をご参照ください。)

SUBARU レガシィツーリングワゴン

取り付け位置



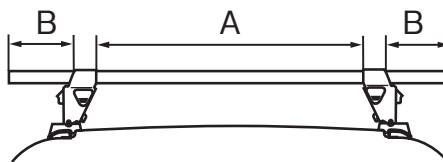
年式	H21.5 ~	型式	BR#
----	---------	----	-----

フット間寸法目安 バーサイズ：EB2（120cm）

A 寸法

B 寸法

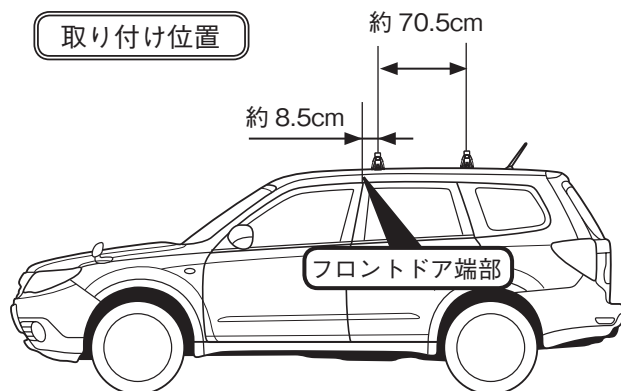
フロント側：約 97.2cm フロント側：約 7.4cm
 リア側：約 95.6cm リア側：約 8.2cm



最大積載重量（目安）：80kg

SUBARU フォレスター

取り付け位置



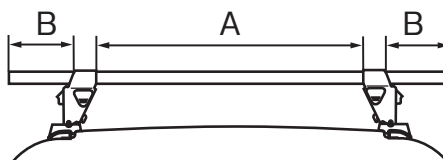
年式	H19.12 ~ H24.10	型式	SH5.9.J
----	-----------------	----	---------

フット間寸法目安 バーサイズ：EB2（120cm）

A 寸法

B 寸法

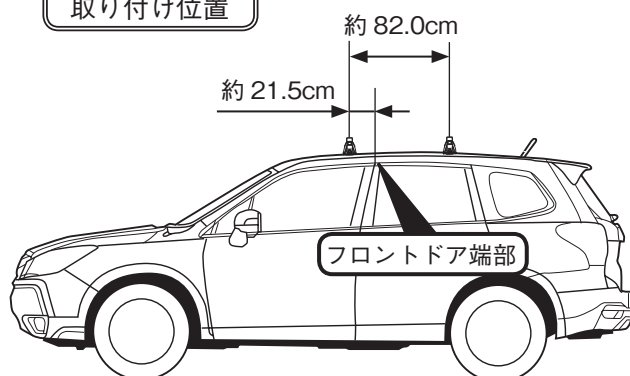
フロント側：約 96.9cm フロント側：約 7.6cm
 リア側：約 93.8cm リア側：約 9.1cm



最大積載重量（目安）：80kg

SUBARU フォレスター

取り付け位置



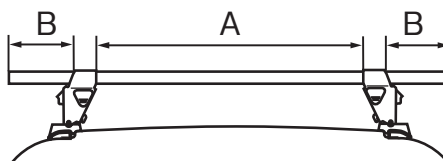
年式	H24.11 ~	型式	SJ5.G
----	----------	----	-------

フット間寸法目安 バーサイズ：EB2（120cm）

A 寸法

B 寸法

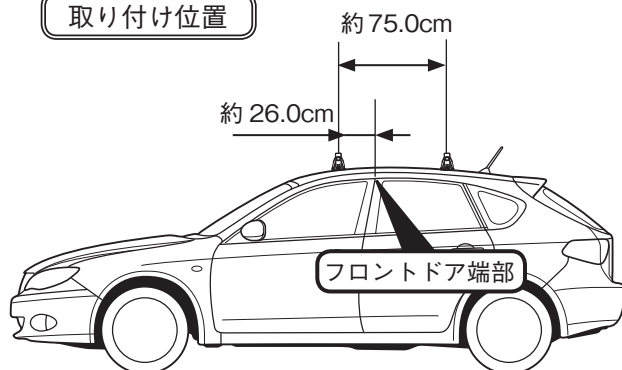
フロント側：約 95.7cm フロント側：約 8.2cm
 リア側：約 92.1cm リア側：約 10.0cm



最大積載重量（目安）：80kg

SUBARU インプレッサ

取り付け位置



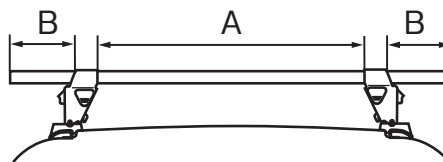
年式	H19.6 ~ H23.11	型式	GH#
----	----------------	----	-----

フット間寸法目安 パーサイズ：EB1（110cm）

A寸法

B寸法

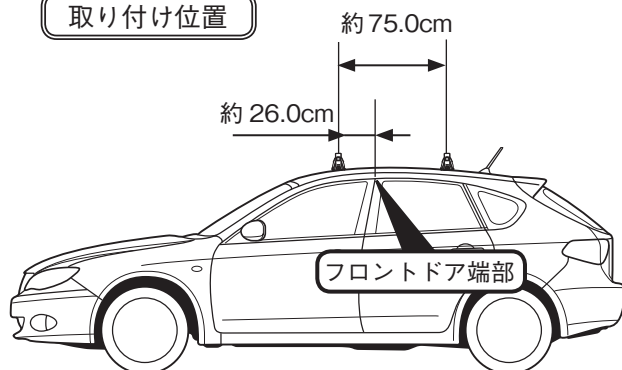
フロント側：約 93.1cm フロント側：約 4.5cm
 リア側：約 86.5cm リア側：約 7.8cm



最大積載重量（目安）：80kg

SUBARU インプレッサ WRX STI

取り付け位置



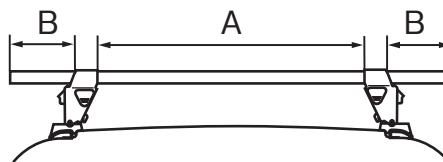
年式	H19.10 ~	型式	GR#
----	----------	----	-----

フット間寸法目安 パーサイズ：EB1（110cm）

A寸法

B寸法

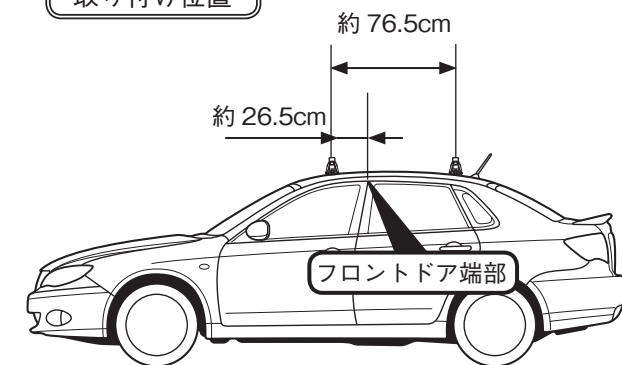
フロント側：約 93.1cm フロント側：約 4.5cm
 リア側：約 86.5cm リア側：約 7.8cm



最大積載重量（目安）：80kg

SUBARU インプレッサ アネシス

取り付け位置



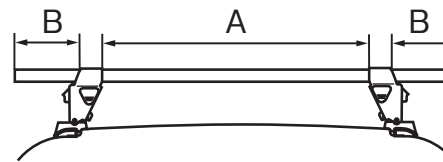
年式	H20.10 ~ H23.11	型式	GE#
----	-----------------	----	-----

フット間寸法目安 パーサイズ：EB1（110cm）

A寸法

B寸法

フロント側：約 93.1cm フロント側：約 4.5cm
 リア側：約 86.5cm リア側：約 7.8cm

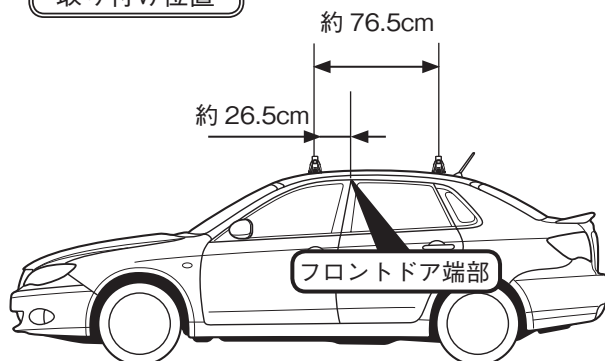


最大積載重量（目安）：80kg

**SUBARU インプレッサ WRX STI
(4ドアセダン)**

年式	H22.7 ~	型式	GV#
----	---------	----	-----

取り付け位置



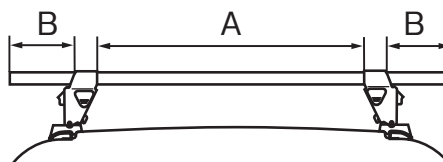
フット間寸法目安 パーサイズ：EB1（110cm）

A寸法

フロント側：約 93.1cm

B寸法

リア側：約 86.5cm



最大積載重量（目安）：80kg

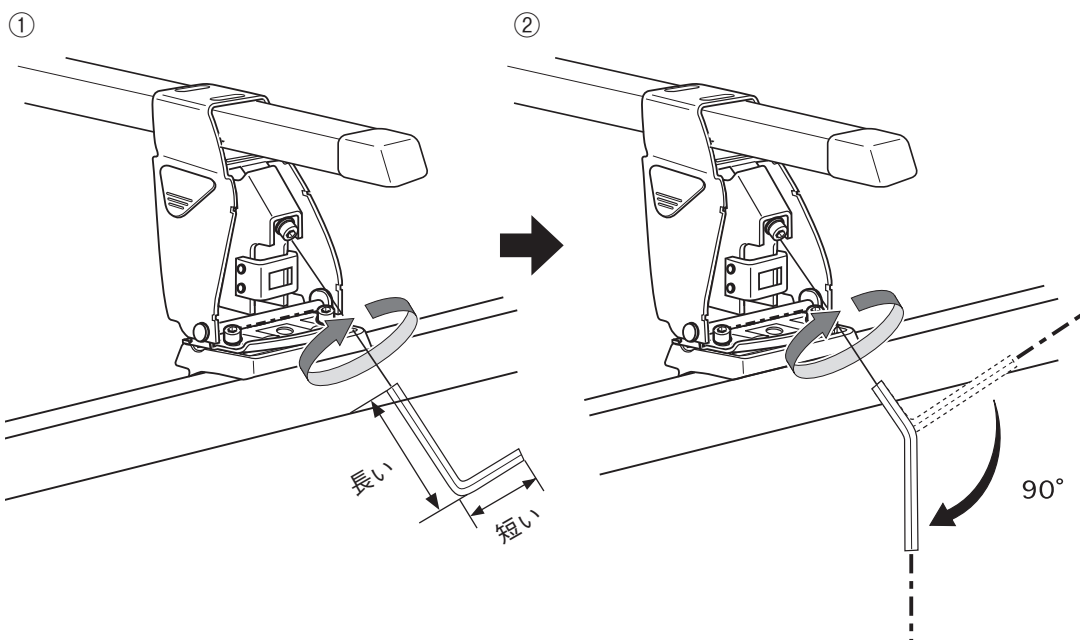
③ フット内部の六角穴付ボルトを六角レンチにて締め付け、メインバーを固定してください。

（締め付けトルクは、約 5N・m を目安に締め付けてください。）

アドバイス

- トルクレンチが無い場合は、①六角レンチの短い方を持ち、回転しなくなるまで六角穴付ボルトを締め付け、②六角レンチの長い方に持ち替えて更に 90° 締め付けてください。

※ ボルトを締め付けすぎるとメインバーの表面の皮膜を剥がしてしまい、サビの原因となりますのでご注意ください。

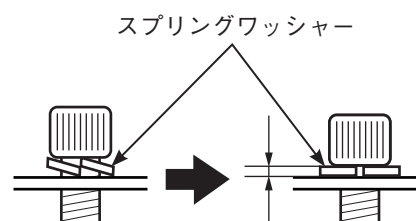


- ④ (4) 車両への取り付けで仮止めした六角穴付ボルトを本締めしてください。

締め付けトルクは、 $2\text{N}\cdot\text{m}\sim 3\text{N}\cdot\text{m}$ ($3\text{N}\cdot\text{m}$ を目安)で締め付けてください。
強く締め付け過ぎるとステアが変形する場合がありますので、ご注意ください。

⚠注意

- 六角穴付ボルトの締め付け目安は、スプリングワッシャーが完全につぶれてから半回転程度です。
六角穴付ボルトを締め付け過ぎると、ステアが変形してしまう場合がありますので、締め付け過ぎないようにご注意ください。
- 『EF-DRX』に添付されている六角穴付ボルト (L=18mm) は、使用しません。
- フット間寸法目安は、車両により、約1cm程前後する場合があります。



- 前後のベースキャリアを車体へ取り付け後の作業につきましては、『EF-DRX』に添付されている取扱説明書 (P6 [6] キーケースの取り付け以降) に従って作業を進めてください。

PIAA株式会社

お客様相談窓口

<http://www.piaa.co.jp>



0570-050-555

受付時間 10:00~12:00 / 13:00~17:00
(土・日・祝日を除く)